

2012年 AIBA 認定アドバイザー試験公開問題「国際マーケティング」

第1問

次の文章は、通商白書 2012 年版の「東アジアにおける国際分業構造」をまとめたものである。問1～問8について最も適切なものを一つ選び解答欄に記入しなさい。

尚、通商白書では、統計の関係から、東アジアは、日本、中国、韓国、香港、台湾、ブルネイ、カンボジア、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムとして集計されている。

東アジア域内では国際的な生産分業が発達しており、貿易を通じて生産拠点間で必要な中間材の移動が行われていると考えられる。その基本的な構造として、日本等が基幹部品を中心とした中間財を輸出し、比較的労働コストの低い中国等で組立てが行われ、最終需要地へ輸出される、いわゆる「三角貿易」が行われていることが示唆される。

東アジアには、(ア)に優位性を持つ国や低コストの(イ)の豊富な国など多彩な国が存在する。その特性をいかす形で、機械製造業分野において(ウ)が分割され、国際的な分業が発達してきた。そのため、国境を超えて各地に分散した製造拠点間で部品のやり取りが必要になり、生産拠点を結ぶ(エ)が拡大するとともに、その生産活動のために必要な(オ)の資本財も活発に取引されていることが示唆される。

問1 (ア)に入る語句として最も適切なものはどれか選びなさい。

- (1) ロジスティックス
 - (2) 技術的
 - (3) 政治的
 - (4) 人口動態
- (正解 (2))

問2 (イ)に入る語句として最も適切なものはどれか選びなさい。

- (1) エネルギー
 - (2) 水資源
 - (3) 労働力
 - (4) 港湾設備
- (正解 (3))

問3 (ウ)に入る語句として最も適切なものはどれか選びなさい。

- (1) 販売先
 - (2) 技術指導
 - (3) 発注工程
 - (4) 生産工程
- (正解 (4))

問4 (エ)に入る語句として最も適切なものはどれか選びなさい。

- (1) 部品貿易
 - (2) 製品貿易
 - (3) 人的交流
 - (4) 財務活動
- (正解 (1))

問5 (オ)に入る語句として最も適切なものはどれか選びなさい。

- (1) 原材料等
 - (2) 産業用機械等
 - (3) 製品等
 - (4) 部品等
- (正解 (2))

第2問

次の文章は「ジェトロ世界貿易投資報告(2012年版)」で分析している世界貿易に関する記述である。

問1～問5について最も適切なものを選び解答欄にその番号を記入しなさい。

2011年の世界貿易(商品貿易、名目輸出ベース)は、前年比約19%増の約18兆ドルとなった。この金額は、統計取得が可能な1949年以降で(ア)であった。国・地域別にみると、世界最大の輸入国は(イ)であり、伸び率は15.4%増となった。品目別にみると、資源価格の高騰を背景に鉱物性燃料等の輸出が前年比(ウ)増と大きく増加した。

2011年のサービス貿易(政府サービスを除く、クロスバーダーの民間サービス輸出)は、前年比10.8%増の4兆円強となった。項目別では、(エ)が12.2%増となり、全体の伸びを上回った。

2011年の日本の貿易(通関ベース)は、輸出が前年比7.0%増の8,208億ドル、輸入が23.4%増の8,531億ドルであった。貿易収支は、323億ドルの赤字を記録した。貿易収支が赤字に転落したのは第2次石油ショック後の80年(107億ドルの赤字)以来、31年ぶりのことである。2011年度の国際収支をみると、約(オ)の黒字になり、前年より黒字幅が849億ドル縮小した。

問1 (ア)に入る語句として最も適切なものはどれか選びなさい。

- (1) 2番目に高い金額
 - (2) 2番目に低い金額
 - (3) 最高額
 - (4) 最低額
- (正解 (3))

問2 (イ)に入る語句として最も適切なものはどれか選びなさい。

- (1) 日本
- (2) ドイツ
- (3) 中国
- (4) 米国

(正解 (4))

問3 (ウ) に入る語句として最も適切なものはどれか選びなさい。

- (1) 10%台
- (2) 20%台
- (3) 30%台
- (4) 40%台

(正解 (3))

問4 (エ) に入る語句として最も適切なものはどれか選びなさい。

- (1) 旅行
- (2) 輸送
- (3) 特許使用料
- (4) 建設

(正解 (1))

問5 (オ) に入る語句として最も適切なものはどれか選びなさい。

- (1) 500 億ドル
- (2) 700 億ドル
- (3) 900 億ドル
- (4) 1,200 億ドル

(正解 (4))

第3問

次の文章は、卸機能についての記述である。最も適切なものを一つ選び解答用紙に記入しなさい。

商品の仕入れと販売を通じた卸売業の基本的な機能は、「集荷機能」、「分散機能」、「需給調整機能」があると言われている。その他に物流機能、金融機能、危険負担機能、情報収集・伝達機能などを挙げることができる。このような役割は大切だが、卸売業の存在理由として最も基本的な機能は流通コスト削減機能であり、そのうち最も基本的な機能は、(ア)である。

() に入る語句として最も適切なものはどれか選びなさい。

- (1) 生産者から小売業者へ納品される商品の検数・検品機能
- (2) 生産者にとり小売業者倒産した場合の保険的な機能
- (3) 生産者と小売業者間の取引回数削減機能
- (4) 生産者に小売業者の集めた消費者の購買動向を伝える機能

(正解 (4))

第4問

次のウィーン売買条約（国際物品売買契約に関する国連条約）に関する記述について最も不適切な記述を指摘しなさい。

問1

(1) ウィーン売買条約は、1988年1月に発効したが日本が加盟したのは2009年8月と発効後21年も経ってからだった。

(2) ウィーン売買条約の適用基準は、売買契約を締結した当事者が異なる加盟国に営業所を有していることが基本となる。

(3) ウィーン売買条約の適用を排除することもできるし、一部制限し、効力を変更することもできる。

(4) ウィーン売買条約は、11種類のトレードタームズを規定している。

(正解(4))

問2

(1) ウィーン売買条約では、CIF 契約の場合、輸入港におけるターミナル・ハンドリング・チャージを売主が負担すべきと規定している。

(2) インコタームズとウィーン売買条約の関係は、それぞれ対立することなく相互に補完的な関係にある。

(3) 最初の国際物品売買統一法は、通称「ハーグ条約」で、「国際物品売買に関する統一法」と「国際物品売買契約の成立に関する統一法」を指す。

(4) ウィーン売買条約の日本での実施のために、新たな立法措置は講じられなかった。

(正解(1))